



みんな元気！ 学校元気！ ふるさと元気！

「元気！」 第2号



令和5年5月25日(木)発行

(りんどうヶ丘小ホームページQRコードです。学校生活のブログ等をご覧くださいませ。)

8秒間の抱きしめ！

ずいぶん前の話ですが、私がまだ若かりし頃に読んだ「明治図書『教室がシーンとなる“とっておきの話”』という本に書いてあった内容を紹介します。

著者によりますと、娘さんが子供の頃のある時期、何かにつけ体の不調を訴えたり、友達のことを気にする時があったそうです。

「お母さん、お腹が痛い！」「頭が痛い！」「腕のここが痛い！」とか、「〇〇ちゃんがこんなことを言った！」と、毎日毎日何らかの不調や不満を訴えていたとのこと。

そんな時、これはおかしい、何かのサインかも？と思われたものの、どうにかしてやりたいけれど、どうしたらいいのかわからないというむなしい日々が過ぎていきました。

ところが、あることをするようになってからというものの、ピタリとそれが止んだのだそうです。それは何なのでしょう？

それは、「抱きしめること」なんです。

なんだ、そんなことかと思われる人も多いかもしれませんが、その時間がポイントになるのだそうです。「8秒間、ぎゅっと強く抱きしめる」のだそうです。

やってみるとわかりますが、8秒間はかなり長いのです。その間に、「お母さんは、あなたのこと大好きだよ。あなたはとても大切なんだよ。」というような言葉をささやいてやります。

著者は、これは、児童教育を研究されている七田真さんの本に書かれていた方法ということで紹介もされています。

子供が頼んだことをしてくれたら、子供を強く抱きしめ、次のようにささやいてあげましょう。

「ママを助けてくれてありがとう。ママは大助かりだわ。ママは、こんなにやさしくて、素直で明るいあなたが好きよ。」

そつと、やさしく抱くのはダメです。ギュッとです。そして、8秒間という時間を守ってください。これをする、子供の心にいつべんに母親の愛情が伝わり、とたんに反抗的でなくなり、素直で明るい子に変わります。すると、困った問題が解決してしまいます。

不思議なもので、子供を抱きしめると自分自身も子供への愛情を強く感じるようになるのだそうです。それどころか、しかる回数も減ったそうです。

※ 信じられないかもしれませんが、試しにやられてみてはいかがでしょうか。ただし、8秒間、ギュッとですよ。著者によりますと、高学年になっても、子供が嫌がっていても、意外と効果があるそうですよ。

プール掃除の姿は、りん小の誇り！



5月19日(金)に「プールそうじ」を行いました。霧雨が降り、肌寒い日でしたが、昨年からの約10か月、底には落ち葉がたまり、水はヘドロ色と化し、汚くなったプールを全校児童と全職員で磨き上げました。午前中に1～4年生、午後から5～6年生が役割分担をして行いました。

感心したのは子供たちの掃除に向かう姿です。腐った落ち葉やヘドロのような土、中にはカエルの死骸なども当然あるのですが、子供たちは誰一人不平不満を言うことなく、黙々と手を動かすのでした。

おかげで、予定時間より大幅に短い時間できれいなプールによみがえりました。りん小の子の自慢がまた一つ増えた行事になりました。子供たちは行事の度に力を付けていくと言いますが、実に感心する掃除態度でした。

まさに、**全校児童に“あっぱれ”**です。

そして、ドラマはそれだけで終わりませんでした。

さらなる感動的な出来事！

5～6年生が掃除を終えてシャワーを浴びて校舎に戻ると、児童昇降口の床がどうしても水浸しになりました。

そのまま床が水浸しになっているのを放置しておく、と低学年が下校するときスベってけがをするかもしれないと危険予知をした**6年生の吉野ひとえさんと佐藤りおさん**の二人は、ぬれた床を自ら進んで拭いていたそうです。しかも、自分のバスタオルで拭いていたそうです。私は、その現場を目撃していませんが、一年生担任の麻生先生が、後日、一斉下校の際に二人への感謝の気持ちを全校児童の前で伝えてくれたのでわかりました。「学校の宝」になりました。

プール掃除のMVPは、ひとえさんとりおさんです！

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！